

注3

大学番号：私296

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

日本経済大学 経営学部 グローバルビジネス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 都築育英学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウムクブチョウ 教務部長 カワグチ 河口 ユウコ 陽子

電話番号 092-921-9813

（夜間） 092-922-5131

F A X 092-921-9825

e-mail kyoumuka@fk.jue.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

＜グローバルビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

添付資料

FD委員会運営規程	26
SD委員会運営規程	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 都築育英学園

(2) 大学名

日本経済大学

(3) 大学の位置

〒818-0197

福岡県太宰府市五条3丁目11番25号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学長	(ツヅキ アスカ) 都築 明寿香 (平成19年11月)		
学部長	(アカセ トモヒデ) 赤瀬 朋秀 (平成28年4月)		
学科長等	ブルーノ カート クリスチャン (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
経営学部 グローバルビジネス学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	20人	— 年次人	80人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	20人 (—) [—]	() []	0.95倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	19 (—) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A							0.95			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 [1]	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 [1] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	19人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	19人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前	1			1						
	英語ⅠB	1後	1			1						
	英語ⅡA	1前	1		1							
	英語ⅡB	1後	1		1							
	英語ⅢA	1前	1		1							
	英語ⅢB	1後	1		1							
	英語ⅣA	1前	1			1						
	英語ⅣB	1後	1			1						
	英語ⅤA	2前	1								1	
	英語ⅤB	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後	1								1	
	中国語ⅠA	1前	1								1	
	中国語ⅠB	1後	1								1	
	中国語ⅡA	2前	1								1	
	中国語ⅡB	2後	1								1	
	中国語ⅢA	3前	1								1	
	中国語ⅢB	3後	1								1	
	ドイツ語ⅠA	1前	1								1	
	ドイツ語ⅠB	1後	1								1	
	ドイツ語ⅡA	2前	1								1	
	ドイツ語ⅡB	2後	1								1	
フランス語ⅠA	1前	1								1		
フランス語ⅠB	1後	1								1		
フランス語ⅡA	2前	1								1		
フランス語ⅡB	2後	1								1		
基礎科目 人文科学系	哲学Ⅰ	1前	2								1	
	哲学Ⅱ	1後	2								1	
	心理学	1前	2								1	
	日本史Ⅰ	1前	2		1							
	日本史Ⅱ	1後	2		1							
	西洋史	1前	2								1	
	東洋史	1後	2								1	
	文学	1前	2				1					
	倫理学Ⅰ	1前	2								1	
	倫理学Ⅱ	1後	2								1	
	地理学Ⅰ	1前	2								1	
	地理学Ⅱ	1後	2								1	
地域再発見	1前	2								1		
基礎科目 社会科学系	社会学概論	1後	2								1	
	政治学Ⅰ	1前	2		1							
	政治学Ⅱ	1後	2		1							
	憲法Ⅰ	1前	2								1	
憲法Ⅱ	1後	2								1		
基礎科目 自然科学系	生物学	1前	2								1	
	数学	1前	2								1	
	ビジネス統計	1後	2								1	
	ソシオ・バイオロジー	1後	2								1	
環境論	1前	2								1		
基礎保健 体育系	健康科学	1前	2								1	
	スポーツA	1前	1								1	
	スポーツB	1後	1								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目 語学系	英語ⅠA	1前	1			1						
	英語ⅠB	1後	1			1						
	英語ⅡA	1前	1		1							
	英語ⅡB	1後	1		1							
	英語ⅢA	1前	1					1				
	英語ⅢB	1後	1					1				
	英語ⅣA	1前	1			1						1
	英語ⅣB	1後	1			1						1
	英語ⅤA	2前	1									1
	英語ⅤB	2後	1									1
	ビジネスイングリッシュⅠA	2前	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅠB	2後	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅡA	3前	1								1	
	ビジネスイングリッシュⅡB	3後	1								1	
	中国語ⅠA	1前	1									1
	中国語ⅠB	1後	1									1
	中国語ⅡA	2前	1									1
	中国語ⅡB	2後	1									1
	中国語ⅢA	3前	1									1
	中国語ⅢB	3後	1									1
	ドイツ語ⅠA	1前	1									1
	ドイツ語ⅠB	1後	1									1
	ドイツ語ⅡA	2前	1									1
	ドイツ語ⅡB	2後	1									1
フランス語ⅠA	1前	1									1	
フランス語ⅠB	1後	1									1	
フランス語ⅡA	2前	1									1	
フランス語ⅡB	2後	1									1	
基礎科目 人文科学系	哲学Ⅰ	1前	2									1
	哲学Ⅱ	1後	2									1
	心理学	1前	2									1
	日本史Ⅰ	1前	2		1							
	日本史Ⅱ	1後	2		1							
	西洋史	1前	2									1
	東洋史	1後	2									1
	文学	1前	2						1			
	倫理学Ⅰ	1前	2									1
	倫理学Ⅱ	1後	2									1
	地理学Ⅰ	1前	2									1
	地理学Ⅱ	1後	2									1
地域再発見	1前	2									1	
基礎科目 社会科学系	社会学概論	1後	2									1
	政治学Ⅰ	1前	2		1							
	政治学Ⅱ	1後	2		1							
	憲法Ⅰ	1前	2									1
憲法Ⅱ	1後	2									1	
基礎科目 自然科学系	生物学	1前	2									1
	数学	1前	2									1
	ビジネス統計	1後	2									1
	ソシオ・バイオロジー	1後	2									1
環境論	1前	2									1	
基礎保健 体育系	健康科学	1前	2									1
	スポーツA	1前	1									1
	スポーツB	1後	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2			1						
	S.D.Seminar B	1後	2			1						
	地域貢献 I	1後	2			1						
	情報リテラシー基礎 A	1前	2								1	
	情報リテラシー基礎 B	1後	2								1	
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2									1
	基礎ゼミ A	2前	2			1						
	基礎ゼミ B	2後	2			1						
	地域貢献 II	2後	2			1						
	情報リテラシー応用 A	2前	2					1				
	情報リテラシー応用 B	2後	2					1				
	キャリアデザイン IA	2前	2								1	
	キャリアデザイン IB	2後	2								1	
	インターンシップ	2前	2								1	
	インターンシップ(実習)	2前	2								1	
	リーダーシップ IA	2前	2				1					
	リーダーシップ IB	2後	2				1					
	専門ゼミ IA	3前	2				1					
	専門ゼミ IB	3後	2				1					
	キャリアデザイン II A	3前	2								1	
キャリアデザイン II B	3後	2								1		
リーダーシップ II A	3前	2				1						
リーダーシップ II B	3後	2				1						
専門ゼミ II A	4前	2				1						
専門ゼミ II B	4後	2				1						
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2									1
	経営学 B	1後	2									1
	経済学 A	1前	2			1						
	経済学 B	1後	2			1						
	簿記原理 IA	1前	2									1
	簿記原理 IB	1後	2									1
	アカデミックライティング IA	1前	1			1						
	アカデミックライティング IB	1後	1			1						
	総合英語 IA	1前	1								1	
	総合英語 IB	1後	1								1	
	マーケティング論 A	2前	2			1						
	マーケティング論 B	2後	2			1						
	会計学 A	2前	2								1	
	会計学 B	2後	2								1	
	情報処理論 A	2前	2								1	
	情報処理論 B	2後	2								1	
	経営組織論	2前	2								1	
	会社法	2後	2								1	
	資源環境・エネルギー論	2前	2								1	
	アカデミックライティング II A	2前	1			1						
	アカデミックライティング II B	2後	1			1						
	総合英語 II A	2前	1			1						
	総合英語 II B	2後	1			1						
	国際関係論	2前	2								1	
	国際経済学 A	2前	2			1						
	国際経済学 B	2後	2			1						
	国際経営論	3前	2								1	
	ICTビジネス講座	3前	2								1	
	経営管理論 A	3前	2								1	
	経営管理論 B	3後	2								1	
外書講読	3前	2					1					
ホスピタリティ ビジネス	3後	2								1		
国際政治外交史	4前	2								1		
国際金融論	4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 SDプログラム	S.D.Seminar A	1前	2									
	S.D.Seminar B	1後	2									
	地域貢献 I	1後	2									
	情報リテラシー基礎 A	1前	2									1
	情報リテラシー基礎 B	1後	2									1
	ROSE(海外語学・経済研修)	1前	2							1		
	基礎ゼミ A	2前	2									
	基礎ゼミ B	2後	2									
	地域貢献 II	2後	2									
	情報リテラシー応用 A	2前	2						1			
	情報リテラシー応用 B	2後	2						1			
	キャリアデザイン IA	2前	2									1
	キャリアデザイン IB	2後	2									1
	インターンシップ	2前	2									1
	インターンシップ(実習)	2前	2									1
	リーダーシップ IA	2前	2									1
	リーダーシップ IB	2後	2									1
	専門ゼミ IA	3前	2									1
	専門ゼミ IB	3後	2									1
	キャリアデザイン II A	3前	2									1
キャリアデザイン II B	3後	2									1	
リーダーシップ II A	3前	2									1	
リーダーシップ II B	3後	2									1	
専門ゼミ II A	4前	2									1	
専門ゼミ II B	4後	2									1	
卒業論文 A	4前	2									1	
卒業論文 B	4後	2									1	
専門科目 学科専門科目	経営学 A	1前	2									1
	経営学 B	1後	2									1
	経済学 A	1前	2			1						
	経済学 B	1後	2			1						
	簿記原理 IA	1前	2									1
	簿記原理 IB	1後	2									1
	アカデミックライティング IA	1前	1			1						
	アカデミックライティング IB	1後	1			1						
	総合英語 IA	1前	1								1	
	総合英語 IB	1後	1								1	
	マーケティング論 A	2前	2			1						
	マーケティング論 B	2後	2			1						
	会計学 A	2前	2								1	
	会計学 B	2後	2								1	
	情報処理論 A	2前	2								1	
	情報処理論 B	2後	2								1	
	経営組織論	2前	2								1	
	会社法	2後	2								1	
	資源環境・エネルギー論	2前	2								1	
	アカデミックライティング II A	2前	1			1						
	アカデミックライティング II B	2後	1			1						
	総合英語 II A	2前	1			1						
	総合英語 II B	2後	1			1						
	国際関係論	2前	2								1	
	国際経済学 A	2前	2			1						
	国際経済学 B	2後	2			1						
	国際経営論	3前	2								1	
	ICTビジネス講座	3前	2								1	
	経営管理論 A	3前	2								1	
	経営管理論 B	3後	2								1	
外書講読	3前	2									1	
ホスピタリティ ビジネス	3後	2								1		
国際政治外交史	4前	2								1		
国際金融論	4後	2								1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、新規科目として、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」の専任教員の配置を「教授」から「准教授」に変更
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」の教員配置を「専任 准教授」から「兼任 講師」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	103 科目	0 科目	113 科目	10 科目 []	105 科目 [+2]	0 科目 []	115 科目 [+2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{\#VALUE!} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	渋谷キャンパスの運動場用地は、日本薬科大学運動場10,000㎡を共同利用、法令上の必要面積小計3,663.94㎡ その他 0.00㎡ 合計 3,663.94㎡。共用は福岡こども短期大学との共用。		
	校舎敷地	59,741.02㎡	0㎡	0㎡	59,741.02㎡			
	運動場用地	17,629.01㎡	7,229.03㎡	0㎡	24,858.04㎡			
	小 計	77,370.03㎡	7,229.03㎡	0㎡	84,599.06㎡			
	そ の 他	49,064.62㎡	0㎡	0㎡	49,064.62㎡			
	合 計	126,434.65㎡	7,229.03㎡	0㎡	133,663.68㎡			
(2) 校 舎		専 用 88,148.68㎡ (88,148.68㎡)	共 用 1,778.00㎡ (1,778.00㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 89,926.68㎡ (89,926.68㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室 82 室	演 習 室 34 室	実験実習室 8 室	情報処理学習施設 7 室 (補助職員 5人)	語学学習施設 3 室 (補助職員 5人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 経営学部 グローバルビジネス学科			室 数 8 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部、学科での特定が不能なため、大学全体の数
	経営学部 グローバルビジネス学科	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0 0	
	計	185,285 [69,255] (165,285 [42,800])	289 [267] (311 [109])	2,714 [2,714] (2714 [2714])	2,195 (1,635)	37,837 (37,837)	0 0	
(6) 図 書 館		面 積 2,764㎡	閱 覧 座 席 数 641席	収 納 可 能 冊 数 210,000冊	大学全体			
(7) 体 育 館		面 積 1,392.02㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート1面、柔道場1、武道場1				大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	200千円	200千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円	5,000千円
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	5,000千円	0千円	0千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		985千円	835千円	835千円	835千円	835千円	835千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	日本経済大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部									
経済学科	4	140	-	570	学士 (経済学)	0.79	昭和43年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	平成28年度入学定員減(10名)
商学科	4	230	-	990	学士 (経済学)	0.88	平成17年度	同上	平成28年度入学定員減(70名)
経営法学科	4	60	-	250	学士 (経済学)	0.71	平成19年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	平成28年度入学定員減(10名)
健康スポーツ経営学科	4	80	-	320	学士 (健康スポーツ経営学)	1.04	平成24年度	同上	
経営学部									
経営学科	4	880	-	3,680	学士 (経営学)	0.93	平成26年度	同上	平成28年度入学定員減(100名)
グローバルビジネス学科	4	20	-	80	学士 (経営学)	0.95	平成30年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	平成30年度入学定員減(20名)
経営学研究科									
経営学専攻(博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.95	平成24年度	東京都渋谷区桜丘町24-5	
経営学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.22	平成26年度	同上	
大学の名称	福岡こども短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
こども教育学科	2	300	-	600	短期大学士 (こども教育)	0.84	昭和51年度	福岡県太宰府市五条3丁目11番25号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	ブルノ カート クリスマン <平成30年4月>
		専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B マーケティング論 A マーケティング論 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II
専	教授	セバスタン デイケン <平成30年4月>
		日本史 I 日本史 II ROSE 経済学 A 経済学 B
専	教授	濱田 幸裕 <平成30年4月>
		英語 II A 英語 II B 英語 III A 英語 III B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B 総合英語 II A 総合英語 II B
専	教授	ネルソン フミコ <平成30年4月>
		アカデミックライティング I A アカデミックライティング I B アカデミックライティング II A アカデミックライティング II B

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	ブルノ カート クリスマン <平成30年4月>
		専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業論文 A 卒業論文 B マーケティング論 A マーケティング論 B 国際経済学 A 国際経済学 B 政治学 I 政治学 II
専	教授	セバスタン デイケン <平成30年4月>
		日本史 I 日本史 II ROSE 経済学 A 経済学 B
専	教授	濱田 幸裕 <平成30年4月>
		英語 II A 英語 II B 基礎ゼミ A 基礎ゼミ B 総合英語 II A 総合英語 II B
専	教授	ネルソン フミコ <平成30年4月>
		アカデミックライティング I A アカデミックライティング I B アカデミックライティング II A アカデミックライティング II B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	准教授	麻生 雅樹 <平成30年4月>
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅣA 英語ⅣB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB
専	准教授	椿 健太郎 <平成30年4月>
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献Ⅰ リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB
専	講師	アレクサンダー・アント・リュ <平成30年4月>
		文学 外書講読
専	講師	ニューマン タニエル <平成31年4月>
		情報リテラシー応用A 情報リテラシー応用B
兼任	教授	新井 敦子 <平成32年4月>
		ホスピタリティビジネス
兼任	教授	蘭 和真 <平成30年4月>
		スポーツA スポーツB
兼任	教授	市川 千尋 <平成33年4月>
		国際金融論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	准教授	麻生 雅樹 <平成30年4月>
		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅢA 英語ⅢB リーダーシップⅠA リーダーシップⅠB
専	准教授	椿 健太郎 <平成30年4月>
		S. D. Seminar A S. D. Seminar B 地域貢献Ⅰ リーダーシップⅡA リーダーシップⅡB
専	講師	アレクサンダー・アント・リュ <平成30年4月>
		文学 外書講読
専	講師	ニューマン タニエル <平成31年4月>
		情報リテラシー応用A 情報リテラシー応用B
兼任	教授	新井 敦子 <平成32年4月>
		ホスピタリティビジネス
兼任	教授	蘭 和真 <平成30年4月>
		スポーツA スポーツB
兼任	教授	市川 千尋 <平成33年4月>
		国際金融論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	教授	井上 伸明 <平成31年4月>
		情報処理論A 情報処理論B
兼任	教授	上野 真二 <平成31年4月>
		会社法
兼任	教授	ラフマン モクスル <平成30年4月>
		社会学概論 国際関係論
兼任	准教授	竹川 克幸 <平成30年4月>
		地域再発見
兼任	准教授	陳 月華 <平成32年4月>
		中国語ⅢA 中国語ⅢB
兼任	准教授	鶴石 蘭 <平成30年4月>
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 国際経営論
兼任	講師	アーンソウ キース <平成30年4月>
		環境論 資源環境・エネルギー論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	教授	井上 伸明 <平成31年4月>
		情報処理論A 情報処理論B
兼任	教授	上野 真二 <平成31年4月>
		会社法
兼任	教授	ラフマン モクスル <平成30年4月>
		社会学概論 国際関係論
兼任	准教授	竹川 克幸 <平成30年4月>
		地域再発見
兼任	准教授	陳 月華 <平成32年4月>
		中国語ⅢA 中国語ⅢB
兼任	准教授	鶴石 蘭 <平成30年4月>
		簿記原理ⅠA 簿記原理ⅠB 国際経営論
兼任	講師	アーンソウ キース <平成30年4月>
		環境論 資源環境・エネルギー論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	エトワズ デビッド <平成30年4月>
		経営学A 経営学B 総合英語 I A 総合英語 I B 会計学A 会計学B
兼任	講師	平 誠一 <平成33年4月>
		国際政治外交史
兼任	講師	デジレロイ ハルレミ <平成30年4月>
		生物学 ソシオ・バイオロジー
兼任	講師	パフロ ジェネグアイブ ヘネフィル <平成30年4月>
		情報リテラシー基礎 A 情報リテラシー基礎 B
兼任	講師	ハリソン ブレント <平成30年4月>
		数学 ビジネス統計
兼任	講師	ハルト ロメホヘ <平成31年4月>
		ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B
兼任	講師	マクレーンベ イリー アレキサンダー <平成30年4月>
		西洋史 東洋史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	エトワズ デビッド <平成30年4月>
		経営学A 経営学B 総合英語 I A 総合英語 I B 会計学A 会計学B
兼任	講師	平 誠一 <平成33年4月>
		国際政治外交史
兼任	講師	デジレロイ ハルレミ <平成30年4月>
		生物学 ソシオ・バイオロジー
兼任	講師	パフロ ジェネグアイブ ヘネフィル <平成30年4月>
		情報リテラシー基礎 A 情報リテラシー基礎 B
兼任	講師	ハリソン ブレント <平成30年4月>
		数学 ビジネス統計
兼任	講師	ハルト ロメホヘ <平成31年4月>
		ビジネスイングリッシュ I A ビジネスイングリッシュ I B ビジネスイングリッシュ II A ビジネスイングリッシュ II B
兼任	講師	マクレーンベ イリー アレキサンダー <平成30年4月>
		西洋史 東洋史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	森 由紀 <平成31年4月>
		インターンシップ インターンシップ(実習) ICTビジネス講座
兼任	講師	山口 雄介 <平成30年4月>
		心理学
兼任	講師	吉田 雅彦 <平成31年4月>
		経営組織論
兼任	講師	ランドリガン ドン <平成31年4月>
		英語ⅤA 英語ⅤB
兼任	講師	王 暁芳 <平成30年4月>
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	後藤 浩士 <平成30年4月>
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	趙 雪梅 <平成31年4月>
		中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	森 由紀 <平成31年4月>
		インターンシップ インターンシップ(実習) ICTビジネス講座
兼任	講師	山口 雄介 <平成30年4月>
		心理学
兼任	講師	吉田 雅彦 <平成31年4月>
		経営組織論
兼任	講師	ラザ マニー <平成30年4月>
		英語ⅣA 英語ⅣB
兼任	講師	ランドリガン ドン <平成31年4月>
		英語ⅤA 英語ⅤB
兼任	講師	王 暁芳 <平成30年4月>
		中国語ⅠA 中国語ⅠB
兼任	講師	後藤 浩士 <平成30年4月>
		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ
兼任	講師	趙 雪梅 <平成31年4月>
		中国語ⅡA 中国語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	床並 征生 <平成32年4月>
		経営管理論A 経営管理論B
兼任	講師	中村 彰夫 <平成30年4月>
		地理学I 地理学II
兼任	講師	能木 敬次 <平成30年4月>
		ドイツ語I A ドイツ語I B ドイツ語II A ドイツ語II B フランス語I A フランス語I B フランス語II A フランス語II B
兼任	講師	的野 佑妃子 <平成31年4月>
		キャリアデザインI A キャリアデザインI B
兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月>
		健康科学
兼任	講師	吉原 さくら <平成32年4月>
		キャリアデザインII A キャリアデザインII B
兼任	講師	渡部 和隆 <平成30年4月>
		哲学I 哲学II 倫理学I 倫理学II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
兼任	講師	床並 征生 <平成32年4月>
		経営管理論A 経営管理論B
兼任	講師	中村 彰夫 <平成30年4月>
		地理学I 地理学II
兼任	講師	能木 敬次 <平成30年4月>
		ドイツ語I A ドイツ語I B ドイツ語II A ドイツ語II B フランス語I A フランス語I B フランス語II A フランス語II B
兼任	講師	的野 佑妃子 <平成31年4月>
		キャリアデザインI A キャリアデザインI B
兼任	講師	吉田 和裕 <平成30年4月>
		健康科学
兼任	講師	吉原 さくら <平成32年4月>
		キャリアデザインII A キャリアデザインII B
兼任	講師	渡部 和隆 <平成30年4月>
		哲学I 哲学II 倫理学I 倫理学II

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名

- (注)
- ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設で平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・学生の資質向上を図るため、専門科目『SDプログラム』に「卒業論文A・B」（4年次配当科目、各2単位）を追加、ブルーノ カート クリスチャン教授が担当予定。
- ・時間割編成において、「英語ⅢA・B」を専任 濱田幸裕教授から専任 麻生雅樹准教授に変更。
- ・時間割編成において、「英語ⅣA・B」を専任 麻生雅樹准教授から兼任 ラザ マニー講師に変更。
- ・平成30年4月 ラザ マニー 講師就任。他学科（経済学科）に所属し、兼任として本学科の授業科目「英語ⅣA・B」を担当。
- ・設置届出書において、エドワーズ ディビッドは、本来「兼任」であったのを「兼任」と表記してしまいました。申し訳ありません。訂正させていただきました。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **限りで設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
4	2	2	0	8	4	2	2	0	8	4	2	2	0	8
(4)	(2)	(2)	(0)	(8)						[-]	[-]	[-]	[-]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 准教授、講師：60 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\text{該当なし}}{0} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし 人			必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
			選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
			自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (30年2月)	該当なし	留意事項	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<経営学部 グローバルビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会 ・ SD委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会 2ヶ月に1回、構成員：教員8名</p> <p>SD委員会 必要に応じ開催、構成員：教職員9名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD推進のための企画及び実施に関する事。 ・ FDに関する報告書等の作成に関する事。 ・ FDに関する調査・研究に関する事。 ・ 教育内容及び教育環境の改善に関する事。 ・ 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関する事。 ・ 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関する事。 ・ 教育職員の資質開発を図るための組織的な研修に関する事。 ・ その他FDの推進及び委員会に関する事。 <p>SD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SD推進のための企画及び実施に関する事。 ・ SDに関する報告書等の作成に関する事。 ・ SDに関する調査・研究に関する事。 ・ 事務職員及び教育職員の大学運営についての資質開発を図るための組織的な研修に関する事。 ・ その他、学長の諮問する事項等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>FD委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法についての研究 ・ 学生による授業評価アンケートの企画・実施 ・ 教員による授業参観の企画・実施 ・ 学生指導要領の検討、特に中途退学防止について ・ 新任教員のための研修会の企画・実施 ・ 学外FDフォーラム等研修会への参加
--

S D委員会

- ・ 職員の資質向上を図るための普及教育
- ・ 新任職員のための研修会
 - ・ 学外S Dフォーラム等研修会への参加

b 実施方法

F D委員会

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施及び評価
- ・ 教員による授業参観の企画・実施及び改善事項の徹底
(学生による授業評価アンケート結果が高い教員の授業実施要領を研修し参考にする。)
- ・ 全教員のための研修会の企画・実施
- ・ F D委員会において、教員の資質向上に関する事項の検討
- ・ F D委員会における懸案事項を各学科長から各学科の教員に伝達し情報を共有する。
- ・ 内容により、全教員対象の研修会の実施、または全教員へのメール送信による徹底

S D委員会

- ・ 職員のための研修会の企画・実施
- ・ 内容により、全職員対象の研修会の実施、または全職員へのメール送信による徹底

c 開催状況（教員の参加状況含む）

F D委員会

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ・ 平成29年度履修登録の指導要領について | H29. 3. 21 教員研修 46名参加 |
| ・ 平成29年度教育指導計画の周知及び新任教員のための研修会 | H29. 4. 5 教員研修 52名参加 |
| ・ 教員による授業参観（アクティブラーニング研修） | H29. 6. 26～6. 28 延べ 47名研修 |
| ・ 平成29年度春学期授業評価アンケート | H29. 7. 3～H29. 7. 14 全教員対象 |
| ・ 教員による授業参観（教員3名が授業を公開） | H29. 11. 14～11. 16 延べ 73名研修 |
| ・ 平成29年度秋学期授業評価アンケート | H30. 1. 9～H30. 1. 22 全教員対象 |

S D委員会

- ・ 新規採用職員に対する各課業務等の紹介 H29年4月3日～4月7日 2名研修
- ・ 「A E D」使用方法の普及教育 H29年4月12日 25名研修

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に配布し、授業の改善策、授業方法の工夫等を記入させた後、回収
- ・ 学生の視点に立った授業運営に努めるべく教員の意識向上
- ・ 学科所属教員の学科運営に関する意識の共有

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。年2回、各学期末（14～15週目の授業時間内）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケート結果（改善策を記入済）を簿冊にして大学図書館に設置するとともに、大学ホームページ上にアンケート結果を情報公開

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動とを実践的な英語教育により培い、グローバルなビジネスを展開できるスキルを身に付けるとともに、卓越した英語力を駆使し世界のビジネスシーンで活躍できる企業人を育成するという本学科の目的が、理解されていると確信する。

昨年は比較的短期間の募集広報であったが、英語能力の高い生徒を募集対象として重点指向した結果、募集定員20名に対し19名の入学者を確保することができた。

これは、高等学校の進路主事及びご父兄をはじめ国際的なビジネスシーンでの活躍を希望する生徒に、本学科設置の趣旨・目的が十分理解されたことに加え、卓越した英語力を身に付けることが国内外を問わず将来の就職に有利なことが認識されたことによるものと思料する。

今後とも、本学ホームページ等を活用し認知度の更なる向上を図るとともに、英語力の向上を希望する生徒及び高等学校への広報を強化し、設置の趣旨・目的が十分達成できるよう努力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年9月末 公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け「適合」と認定された。（平成30年2月7日）
- ・平成36年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有) ・ (無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成 30 年 5 月 31 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。